

Trærock (トライロック)

木造建築 防耐火・断熱外皮システム



Trærock (トライロック)

Trærock (トライロック)

「Træ/トライ」はデンマーク語で「木」を表す言葉です。トライロックは、木造建築専用開発されたストーンウールによる防耐火・断熱外皮システムです。

ストーンウール

ストーンウールは玄武岩、ドロマイト等の岩石を主原料とし、これらを溶解し、繊維化して製造された人造鉱物繊維です。ご使用にあたって、本施工標準をご参照ください。



免責事項(設計・施工上のご注意)

下記の事由により発生した不具合・損害等については、当社は責任を負いかねます。設計・施工にあたっては十分ご注意ください。

1. 当社が定める標準仕様以外の仕様、または使用者の指示による施工方法等に起因して問題が生じた場合。
2. 標準仕様以外で、使用者より支給された材料・部品等に起因して問題が生じた場合。
3. 当社推奨品以外の副資材を使用したことに起因して問題が生じた場合。
4. 建物の構造条件、下地の変形・老朽化、外部からの衝撃等、当社製品以外の要因により問題が生じた場合。
5. 引き渡し後の構造・仕様等の改修、またはそれに伴う変更により問題が生じた場合。
6. 通常の経年変化に伴う仕上げ面の汚れ・変化が生じた場合。
7. 開発・製造・販売時に通常想定される環境条件(湿度や温度等)の範囲を超える使用・保管・移動等に起因して問題が生じた場合。
8. 地震、台風等の自然災害、その他の不可抗力に起因して問題が生じた場合。

目次

「Trærock (トライロック) 外張り工法施工標準」をご利用の前に	4
トライロックの取り扱い注意事項	6
副資材	7
「トライビス留め」・「トライロック Kabe ブラケット」併用 施工方法	8
防水層と防湿層について	9
トライロック Kabe Fire S120又は S150 の施工方法	10
トライロック Yane S150 の施工方法	14
トライロック Yuka S150 の施工方法	17
軸組構造施工標準図	
矩 計 図	
SK-01 屋根外張り・壁外張り・床下断熱	19
壁断熱断面図	
SK-02 壁外張り+床断熱 取り合い部	20
SK-03 壁一般部 ストーンウール厚さ100mm以下	21
SK-04 開口部 断面詳細	22
SK-05 開口部 ふかし材 平面詳細	23
SK-06 出隅部	24
SK-07 入隅部	25
SK-08 下屋と壁 取合部	26
屋根断熱断面図	
SK-09 棟部 換気部分	27
SK-10 屋根外張り+壁外張り	28
SK-11 屋根 壁取り合い部:垂木を軒で止める	29
床部位納まり断面図	
SK-15 大引き間断熱仕様・大引き上連続断熱仕様	30

「トライロック 外張り工法施工標準」をご利用の前に

本施工標準(以下「本書」という)は、Traerock(トライロック)外張り断熱工法の設計および施工にあたり、設計事務所や施工会社において、ストーンウールの設計・施工・管理に必要な標準施工の方法が示されています。事前に本書をよく読みの上、正しくご使用ください。

断熱材の厚さは、設計施工指針の断熱材の熱抵抗値基準より製品カタログからお選びください。
本書の内容について、不明な点・お気付きの点がございましたら、弊社までお問い合わせください。

安全に関するご注意

本書の中で特に注意していただきたい事項については、各項目ごとに下記の表示をしています。

 :安全上注意していただきたい箇所に表示しています。

 :取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定される場合に表示しています。

 :取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定される場合に表示しています。

本書に掲載の商品は、各商品ごとの設計・施工に関する専門知識・技術が必要であり、所定の教育を受けた技術者による設計・施工を原則としております。実施にあたっては、これら専門業者の方による実施をお願いします。

ご注意とお願い

仕様・外観・施工法等は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
印刷物と実物とは多少外観が異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

本施工標準で使用している数値

本書で示した数値は、設計値(標準設定値)であり、絶対値や保証値ではありません。また、製品の許容差は、特記なき限り本書では取扱いません。

本書では、SI単位を主として表示しています。

構造体

トライロックは木造軸組構造、枠組み構造用に開発された外皮システムです。柱、間柱、垂木は455mmピッチでの仕様となります。

胴縁

胴縁を設置する際、ビスは必ず柱、間柱に設置するようにご確認お願い致します。

横胴縁を使用する場合、必ず最小30mm以上の通気口を1.8m以内の間隔で設け、通気を妨げ無いように注意してください。トライロックの厚さや外装材の重さによってビス2本打ちが必要な場合、90mm幅以上の胴縁の使用を推奨します。

胴縁・通気垂木・根太によるトライロックのつぶれ

胴縁や通気垂木を設置する際、断熱性能を保つためトライロックをつぶさないようビスを設置してください。

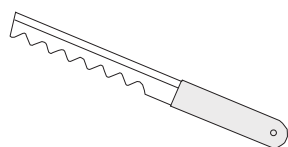
接着剤の使用

弊社は接着剤での貼り付け施工を推奨しません。

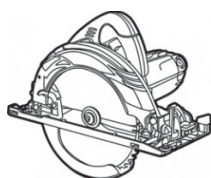
現場加工

現場加工は、防水シートや、他の部材の破損を防ぐため、設置する前に行ってください。

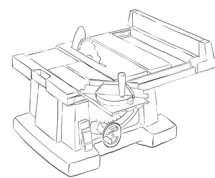
トライロックの加工に使用可能な道具、工具は下記の物があります。粉砕の飛び散り等に注意し、必ず保護メガネ、手袋、マスク等を着用して行ってください。工具は、他の材質（特に木）が付着していないことを確認してから、使用してください。



断熱用ナイフ 波型刃



電動丸のこ



テーブルソー

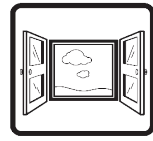
トライロックの加工に使用可能な道具

トライロックの取り扱い注意事項

① 使用環境に関する注意



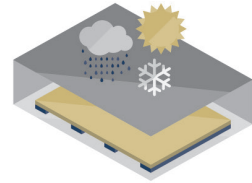
- ・ 常時、換気がされた場所で作業してください。



② 保管・運搬時に関する注意



- ・ 直射日光の当たる場所や常に漏水した場所での保管は避けてください。
- ・ 鋭角な器物との衝突や角度当ては損傷の原因になりますので避けてください。
- ・ 輸送中の包装の破損などにより粉じんが飛散しないよう注意してください。
- ・ 食品や飼料と一緒に輸送しないでください。
- ・ 直射日光を避け、容器の破損、漏れ、水濡れ等のないように積み込み、荷崩れの防止を行ってください。
- ・ 重量物を上積みしないでください。



③ 施工時・作業時の注意



- ・ 局部荷重や衝撃により割れることがありますので、施工時には下地の無い箇所には乗らず、根太や垂木の上を歩いてください。トライロックを垂木間または根太間、及び垂木上面に施工した場合、下地が見えなくなります。踏み抜きには十分ご注意ください。
- ・ 特に、屋根の施工は高所作業になりますので、関連法規に従い、必ず安全を確保の上行ってください。
- ・ 強風下での施工は風にあおられやすいので行わないでください。



④ 紛塵注意



- ・ 保護メガネ、保護手袋、マスク 及び 適切な衣服を着用してください。
- ・ 取扱い後は、うがいをし、よく手や顔等を洗ってください。
- ・ 紛塵が目に入った場合は、こすらないで流水で洗浄してください。眼の刺激が続く場合、医師の診断を受けてください。
- ・ 吸入した場合はうがいなどを行い、紛塵を洗い出し、呼吸しやすい姿勢で休息してください。気分が悪い場合、医師の診断を受けてください。



⑤ 火災時の処置



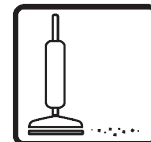
- ・ 不燃物なので火災時の特別な措置は不要です。
- ・ 火災時は速やかにその場から風上に避難してください。



⑥ 廃棄時の注意



- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく「がれき類」又は「ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず」に該当します。国・県及び地域の法令・基準等に従い産業廃棄物として取扱ってください。
- ・ 粉じんが飛散しないように注意してください。
- ・ 床面等にこぼれた場合は、粉じんが飛散しないように静かに工業用掃除機等を用いて清掃してください。



⑦ その他

- ・ シロアリや昆虫および動物の栄養源や餌にはなりません。



注意事項は通常の手配を対象としたものです。特殊な手配をされる場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用ください。記載内容は現時点の資料・データに基づいて作成されたものであり、改訂されることがあります。

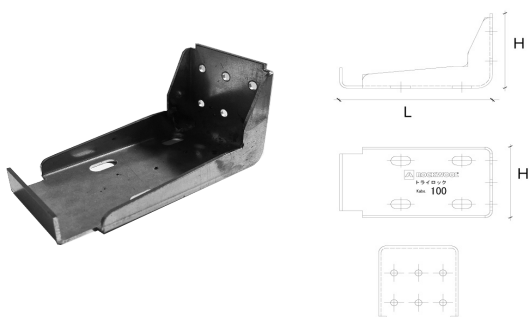
トライビス



	情報
施工箇所	外断熱工法の通気胴縁や通気垂木留め
表面処理	クロメート
使用ビット	ヘキサロビュラ No.3
接合部材	木ー木
推奨工具	インパクトドライバー

品目	製品名	トライロックの厚さ (mm)	入数 (本/袋)	L (mm)	H (mm)	W (mm)
376746	トライロックトライビス 6/160mm 100/BAG	75-100	100	160	9	6
376747	トライロックトライビス 6/160mm 250/CAR	75-100	250	160	9	6

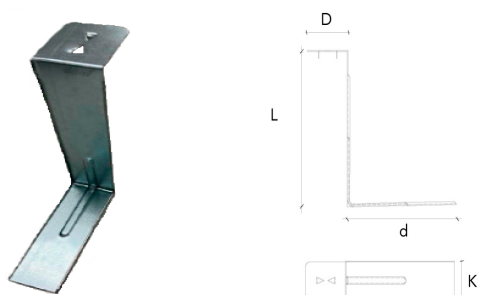
トライロック Kabe ブラケット



	情報
施工箇所	外張り工法用断熱材支持材
材質	SGMCC K12以上 溶融亜鉛ーアルミニウムーマグネシウム 合金めっき鋼板 (JIS G 3323適合品)
接合部材	木
推奨工具	電動ドライバー

品目	製品名	トライロックの厚さ (mm)	入数 (本/袋)	L (mm)	H (mm)	W (mm)
376748	トライロック Kabe ブラケット 100mm 40/CAR	100	40	100	55	52

トライロック Yuka ブラケット



	情報
施工箇所	大引き間断熱施工の支持金具
材質	SGCC Z12以上 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302適合品)
接合部材	木
推奨工具	木製(樹脂)ハンマー

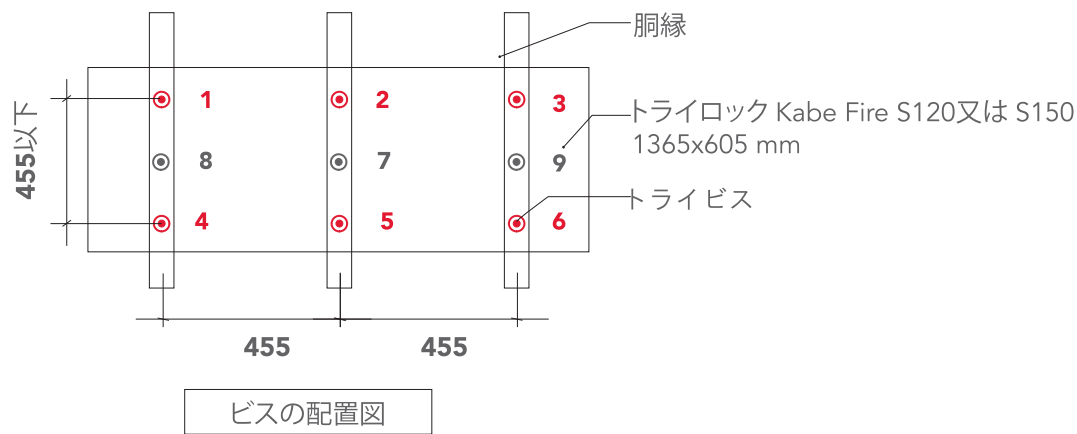
品目	製品名	トライロックの厚さ (mm)	入数 (本/袋)	L (mm)	D (mm)	d (mm)	K (mm)
376749	トライロック Yuka ブラケット 105mm 100/CAR	105	100	100	30	80	25

「トライビス留め」・「トライロック Kabe ブラケット」併用 施工方法

- トライロック Kabe Fire S120又は S150 の専用ビスおよび適合ビスを推奨します。厚さ100mmのみ専用製品があります。適合ビスにつきましてはお問い合わせください。
- トライロック Kabe 厚さ100mmのみ専用ブラケット製品があります。付加断熱下端部にご使用ください。
- 支持材として下端部に木材をご利用の場合、厚さをストーンウールに合わせ、留め付けに必要なトライビスの個数をご確認ください。

トライビスの必要個数

- トライロック Kabe Fire S120又は S150 の1枚に当たり、最低6本のトライビス留めが必要です。
- 外装材の重さによって必要数が決まります。下記の資料を参照ください。



トライロックの厚さ 100mm

トライロック Kabe Fire S120又はS150	必要トライビス数			
1枚あたりの数	6	7	8	9
外装材の耐荷重	53 kg/m ²	62 kg/m ²	71 kg/m ²	80 kg/m ²

外装材の耐荷重には、銅縁や外装材に必要な副資材を含めてください。
トライロック Kabe Fire S120又はS150の自重はトライロック Kabe ブラケット (支持材) が負担するので外装材の荷重には含まれません。

厚さ100mmを超えるストーンウールの施工については弊社までお問い合わせください。

注意：トライビスの数と耐荷重は2mm変位時の耐力を表しています。

注意：耐火性能に影響を及ぼす恐れがあるため、樹脂やプラスチックなど可燃物を多く含んだ副資材の利用は避けてください。

防水層と防湿層について

結露防止のための仕様

防湿層、又は可変調湿層の設置が必要です。取付の際は、メーカーの施工標準書に基づいて行ってください。

透湿防水シートの設置位置

トライロック 防耐火・断熱外皮システムでは、透湿防水シートの設置を外装付加断熱裏の躯体・構造側に推奨し、ストーンウールを外装付加断熱裏の外側に設置されます。

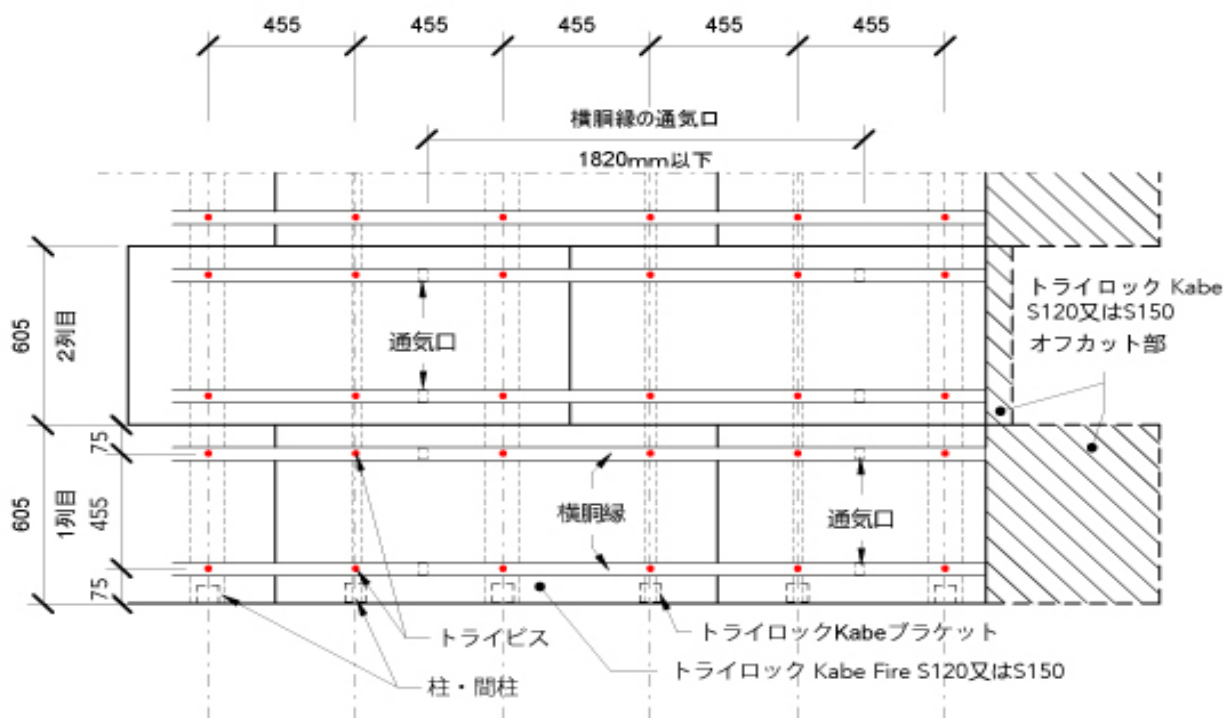
① 防水層を保護するため

- 防水層の取り付けは、構造用面材や柱の直張りが効果的な推奨施工方法です。ステーブル留め、接着、液体塗布等の施工は、硬く安定した側面である構造体側が最適といえます。

② トライロック製品は撥水加工が施されている断熱材です。雨水や湿気に強く、耐水性および耐湿性を持つ製品です。

③ 外装材裏の壁内に浸入した雨水が繊維の間を抜けることで排水を確保します。

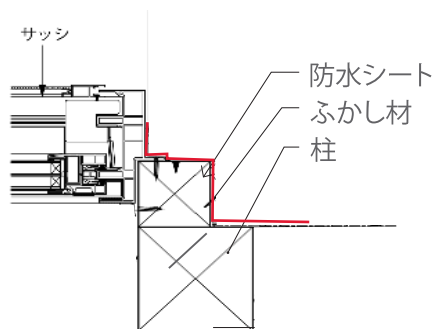
- ・ 千鳥状になるよう、設置してください。
- ・ 横胴縁を使用する場合、必ず通気口を設け、通気が妨げられないよう確認してください。



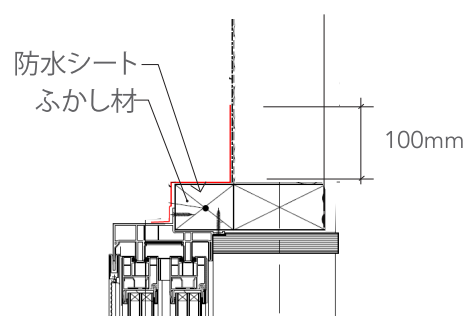
【立面図】横胴縁のレイアウト図 ビスの配置図

② 防水施工を完了してください。

水切り、防水テープ、防水シート等でサッシ、ふかし材、壁の防水施工が完了したことを確認してください。開口部のふかし材を設置し、サッシの施工を終えてください。防水施工は、メーカーの施工標準書に基づいて行ってください。



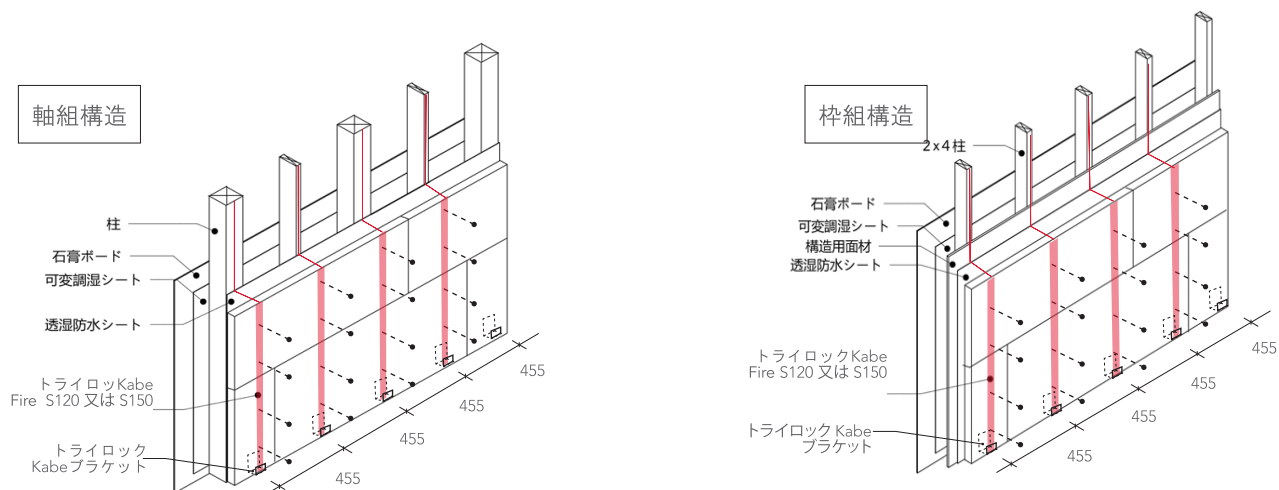
【平面図】開口部 防水加工の例



【断面図】開口部 防水加工の例

③ 柱の位置を確認してください。

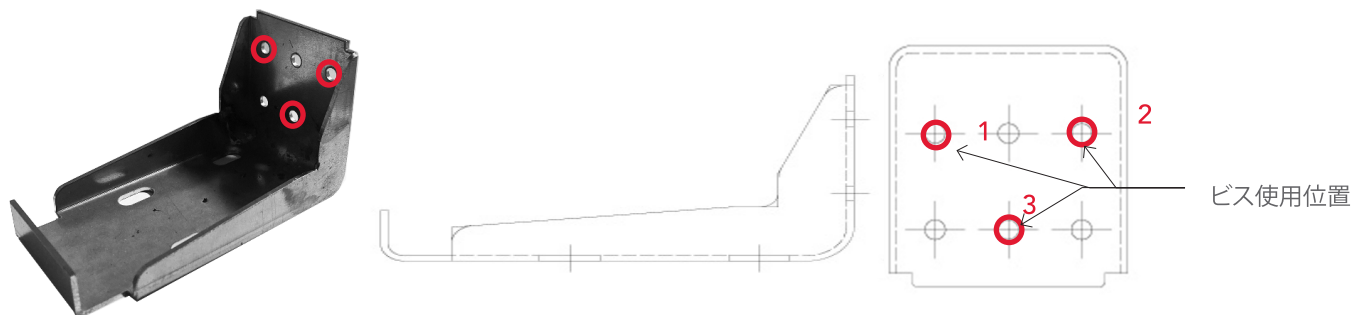
- ・ トライビスの設置の際、強度を保つため、**構造用面材の使用有無にかかわらず**、トライビスは必ず柱の位置で打ち込まれる必要があります。柱の位置を事前に確認し、防水層、トライロックで隠れる場所を避け、目印となるようしるしをつけ、打ち抜きに注意してください。
- ・ 柱にトライビスが打ち込まれなかった場合、トライビスを抜く場合とトライビスを抜かない対処法があります。トライビスを引き抜く場合、設置されたトライロックを外し、防水層をテープ等で補修してください。



トライビスの位置と柱の位置

④ トライロック Kabe ブラケットは、水切りや防水層の設置が完了した後に行ってください。

- ・ 土台部に、トライロック Kabe ブラケット又は、木材を設置してください。
- ・ 木材を使用する場合、荷重を確認し、木材の強度が保たれることを確認してください。
- ・ トライロック Kabe ブラケットは455mmピッチで設置し、同じ高さ設置されている事を確認してください。
- ・ トライロック Kabe ブラケットは下穴の上部端2本、下部の中央に1本、計3本のビスで取付を行ってください。
- ・ 必ずトライビスは大引き等、構造部に設置してください。

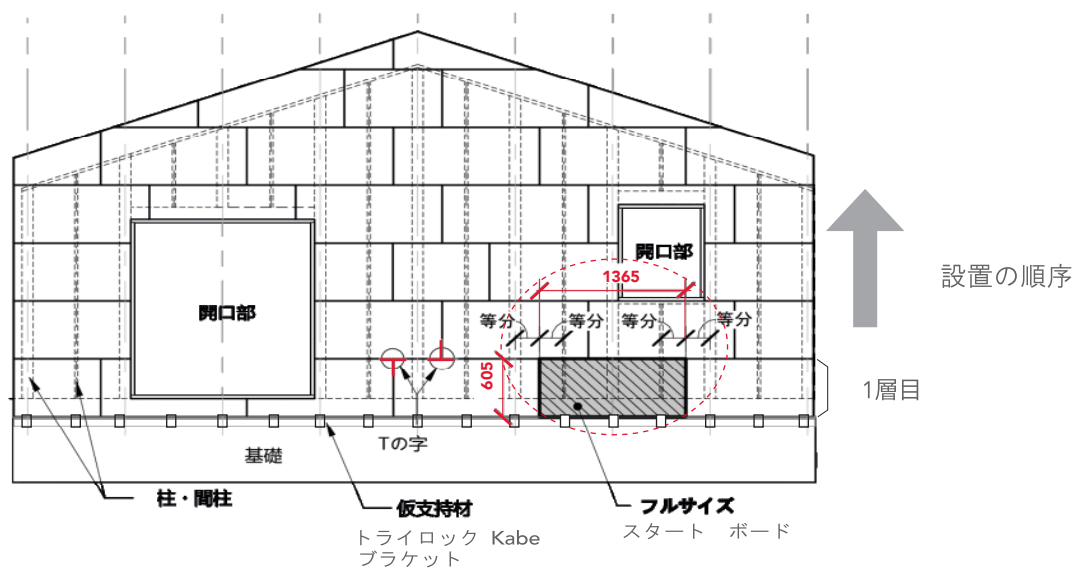


トライロック Kabe ブラケット設置用ビスの位置

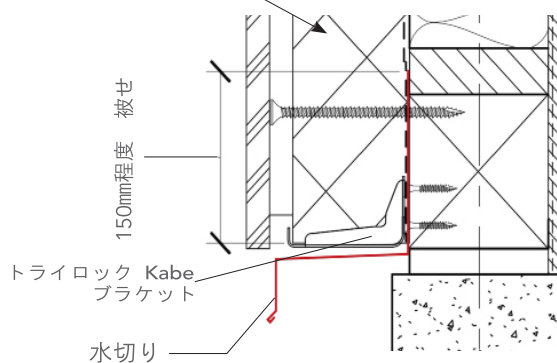
設置作業手順

① 下部から軒部に向かって、設置作業を進めてください。

- 1枚目のトライロック Kabe Fire S120又はS150はフルサイズの使用を推奨します。
- トライロック Kabe ブラケットに合わせ設置し、仮止めをしてください。
- トライロック Kabe ブラケットに設置する際、外壁との間に隙間が生じないように、押し込みながら設置して下さい。



トライロック Kabe
Fire S120又はS150



【断面図】ブラケットの納まり図

トライロック Kabe
Fire S120又はS150

トライロック Kabe
ブラケット



ブラケットとトライロックの納まりの様子

② 2枚目の設置を行う際、1枚目と隙間が生じないように押し込むように設置し、仮止めを行ってください。

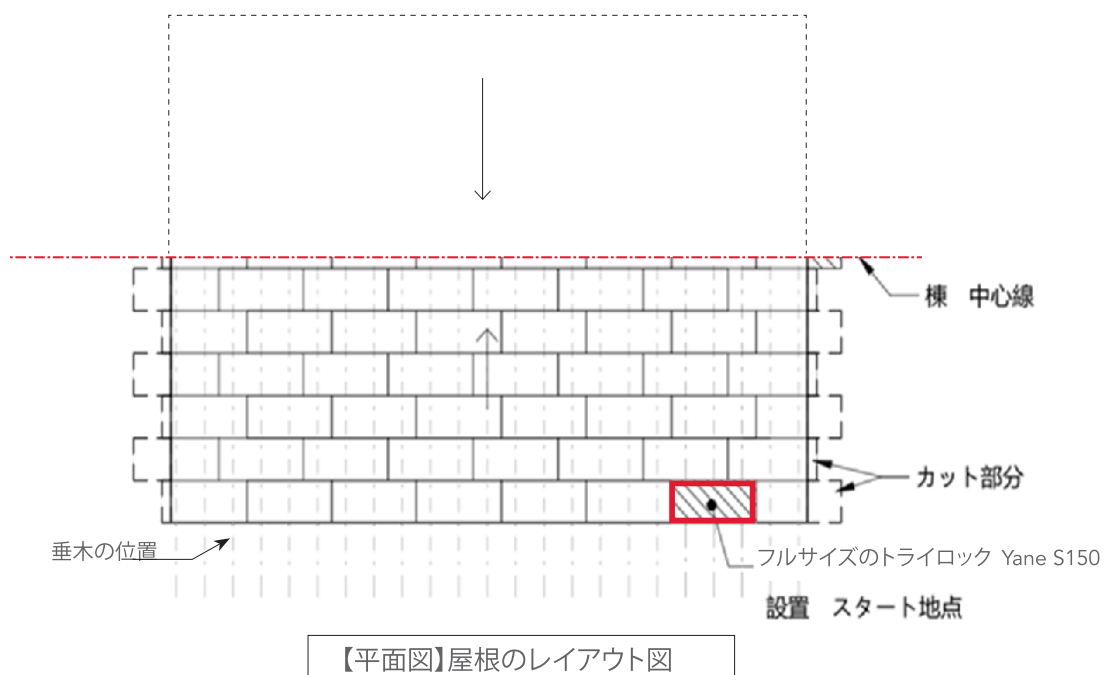
- 施工中、トライロック Kabe Fire S120又はS150間に隙間がない事を確認してください。
- 2階、3階の外壁への設置は、各階にトライロック Kabe ブラケットを使用してください。上階部のブラケットと下部のトライロック Kabe Fire S120又はS150の間に隙間が生じないように確認してください。
- 軒部の加工は、最終列まで設置後に再度必要寸法を確認してから現場にて加工してください。
- トライビスを用いて、胴縁を設置してください。

トライロック Yane S150の施工方法

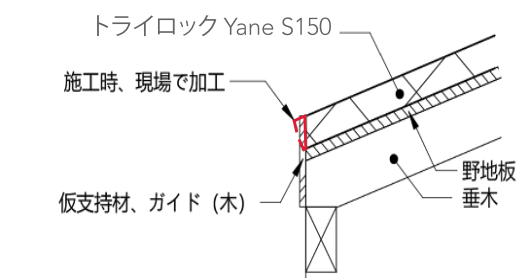
事前作業

① トライロック Yane S150のレイアウトを準備します。

- トライロック Yane S150は裏表指定はありません。
- トライロック Yane S150は、軒に対して横長になるよう設置してください。
- 垂木の位置を確認し、フルサイズのトライロック Yane S150は通常3本の垂木の上に設置され、端材は最低2本の垂木の上で使用されることを確認してください。
- 千鳥状になるよう、目地を上下部とずらし設置してください。



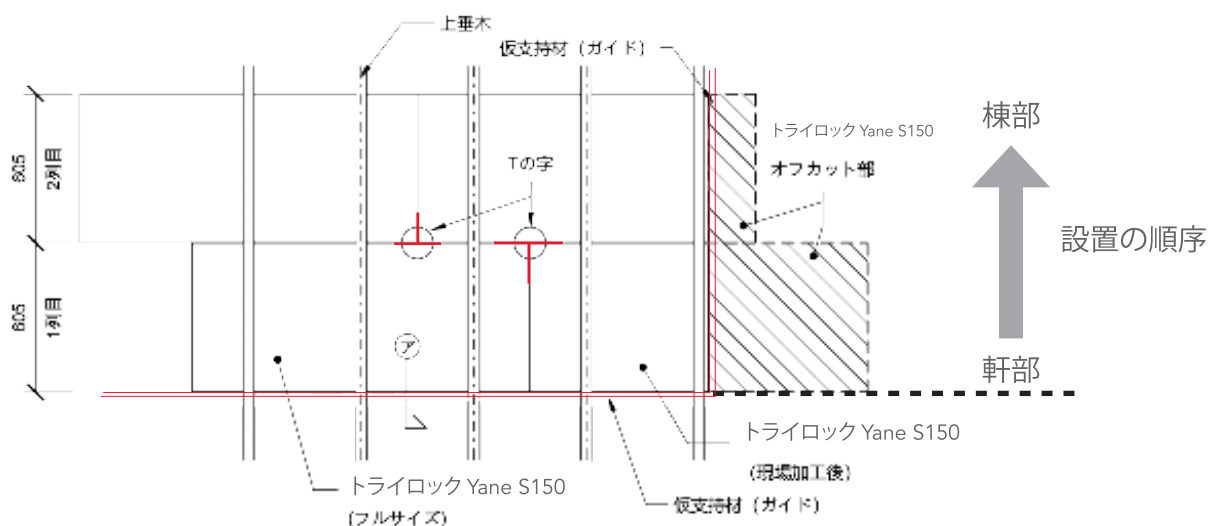
- ② 1列目の軒部は必要に応じて現場にて加工してください。現場加工は、防水シートや他の部材の破損を防ぐため、設置する前に事前に行ってください。
- ③ 水切り、防水テープ、気密シート等でサッシ、ふかし材、壁の防水施工が完了したことを確認してください。
- ④ 軒部、妻部に仮支持材、ガイド (木) を設置してください。



軒部用に現場加工した
トライロック Yane S150

設置作業手順

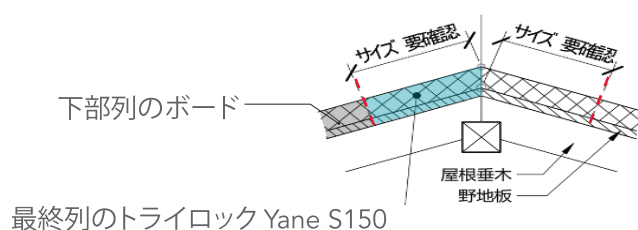
① トライロック Yane S150の設置作業は、軒部(下部)から棟部に向かって行ってください。



【平面図】屋根 トライロック Yane S150・通気垂木のレイアウト図

- ・ 1列目を仮支持材(ガイド)に合わせ設置し、必要であれば仮止めを行ってください。
- ・ トライロック Yane S150 の間に隙間が生じないように押し込むように設置してください。
- ・ 棟部最終列の現場加工は下部列を設置後、寸法を確認し行ってください。
- ・ 最終列棟部も隙間が出来ないように、押し込むように設置してください。
- ・ 施工中、常にトライロック Yane S150の間に隙間がない事を確認してください。

注意:ビスを使用する際は、必ず垂木の位置を確認し、防水シートを破損しないよう垂木部に設置してください。



【断面図】棟部のトライロック Yane S150 加工例

② 通気垂木の設置

- 設置する垂木を所定の場所に配置してください。
- 高さ調整のためにベースとなる仮支持材、ガイド(木)を、トライロック Yane S150の上部に設置することをお勧めします。通気垂木設置用のビスの締めすぎによる、トライロック Yane S150の圧縮に注意してください。

注意:ビスを使用する際は、必ず垂木の位置を確認し、防水シートを破損しないよう垂木部に設置してください。



通気垂木を所定の位置に設置する様子



高さのガイドを棟部に設置された様子

③ 通気垂木間の充填断熱を設置します。

- 30mm以上の通気を確保してください。充填ストーンウールが、通気を妨げることないように注意してください。
- 隙間が出来ないように、丁寧に設置し、必要であれば断熱用ナイフでカットしてください。



充填用ストーンウールを断熱用ナイフで
カットしている様子



通気垂木間の充填施工の様子



軒部の充填で、通気を確保し設置している
様子

トライロック Yuka S150の大引き上連続断熱の施工方法

事前作業

- ① 配管や床下断熱の作業を完了してください。
- ② 大引き上に野地板を設置し、平らで異物がない事を確認してください。
- ③ トライロック Yuka S150のレイアウトを準備します。

注意：改修工事の場合、構造体の状態を現場にて検証し、必要に応じて補修作業を行ってください。

設置作業手順

- ① トライロック Yuka S150を部屋の周囲から敷き詰め、トライロック Yuka S150の間、また壁との間で隙間ができないよう注意してください。トライロック Yuka S150は裏表指定はありません。
- ② トライロック Yuka S150が平らであることを確認しながら作業を進めてください。隙間が出来ないように必要な寸法に加工してください。

注意：荒床材間の隙間の踏み抜きに注意しながら作業をしてください。



トライロック Yuka S150を
荒床材の上に敷き詰めている様子



必要寸法を確認し、断熱用ナイフで
現場加工を行う様子

図番一覧表

矩計図

SK-01 屋根外張り・壁外張り・床下断熱	19
-----------------------	----

壁断熱断面図

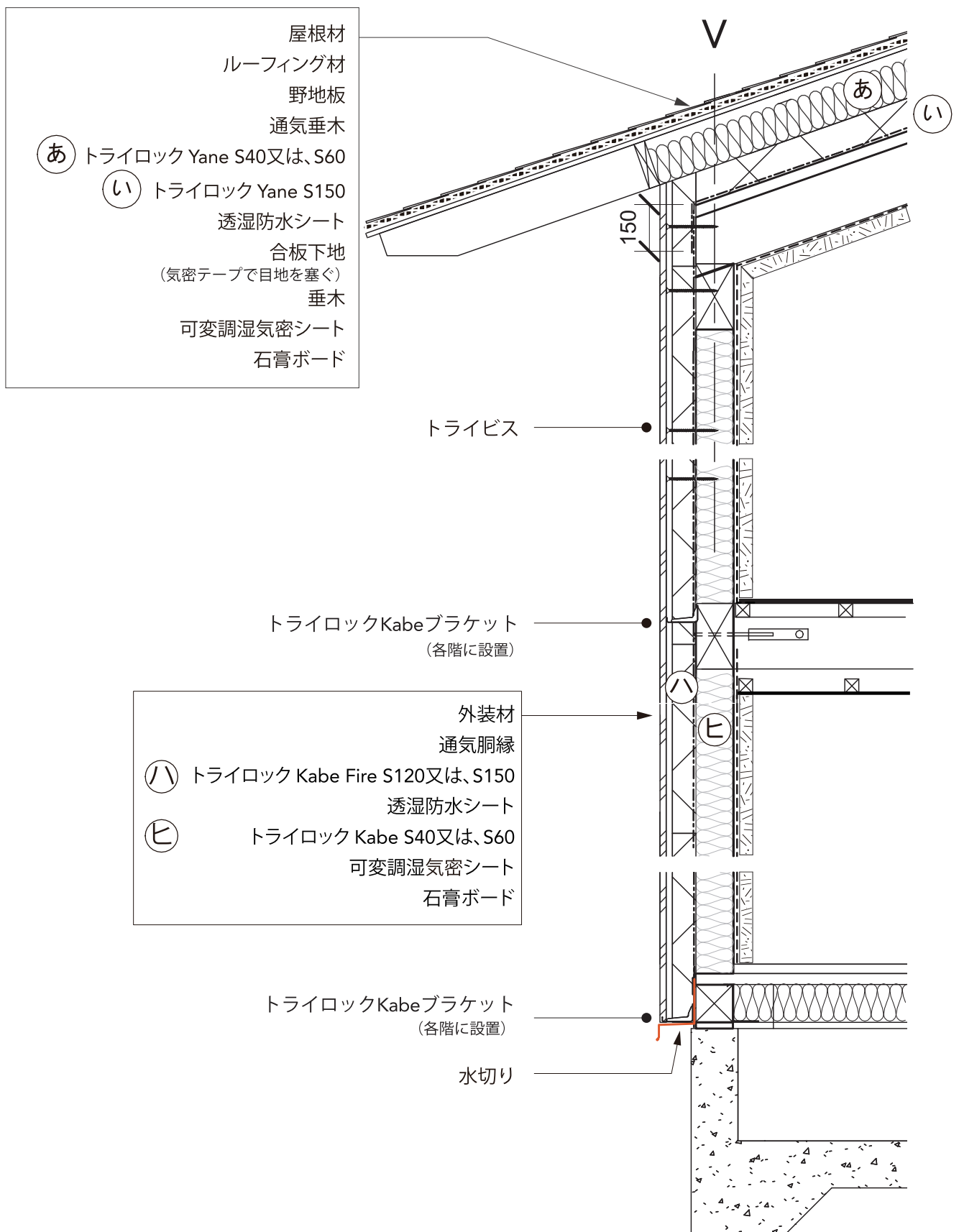
SK-02 壁外張り+床断熱 取り合い部	20
SK-03 壁一般部 ストーンウール厚さ100mm以下	21
SK-04 開口部 断面詳細	22
SK-05 開口部 ふかし材 平面詳細	23
SK-06 出隅部	24
SK-07 入隅部	25
SK-08 下屋と壁 取合部	26

屋根断熱断面図

SK-09 棟部 換気部分	27
SK-10 屋根外張り+壁外張り	28
SK-11 屋根 壁取り合い部:垂木を軒で止める	29

床部位納まり断面図

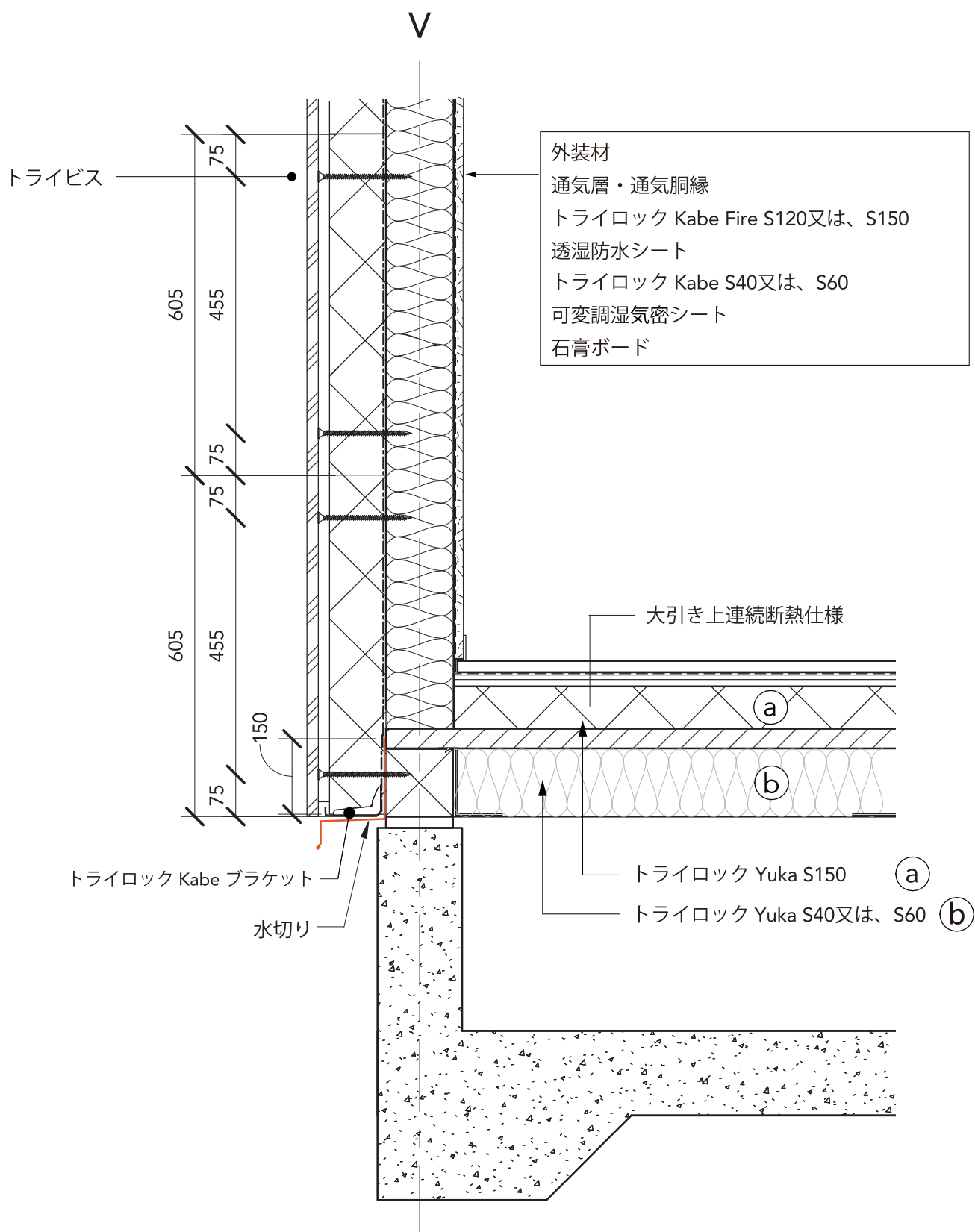
SK-15 大引き間断熱仕様・大引き上連続断熱仕様	30
---------------------------	----



ROCKWOOL Japan合同会社 Trærock (トライロック) 防耐火・断熱 外皮システム

屋根外張り・壁外張り・床断熱

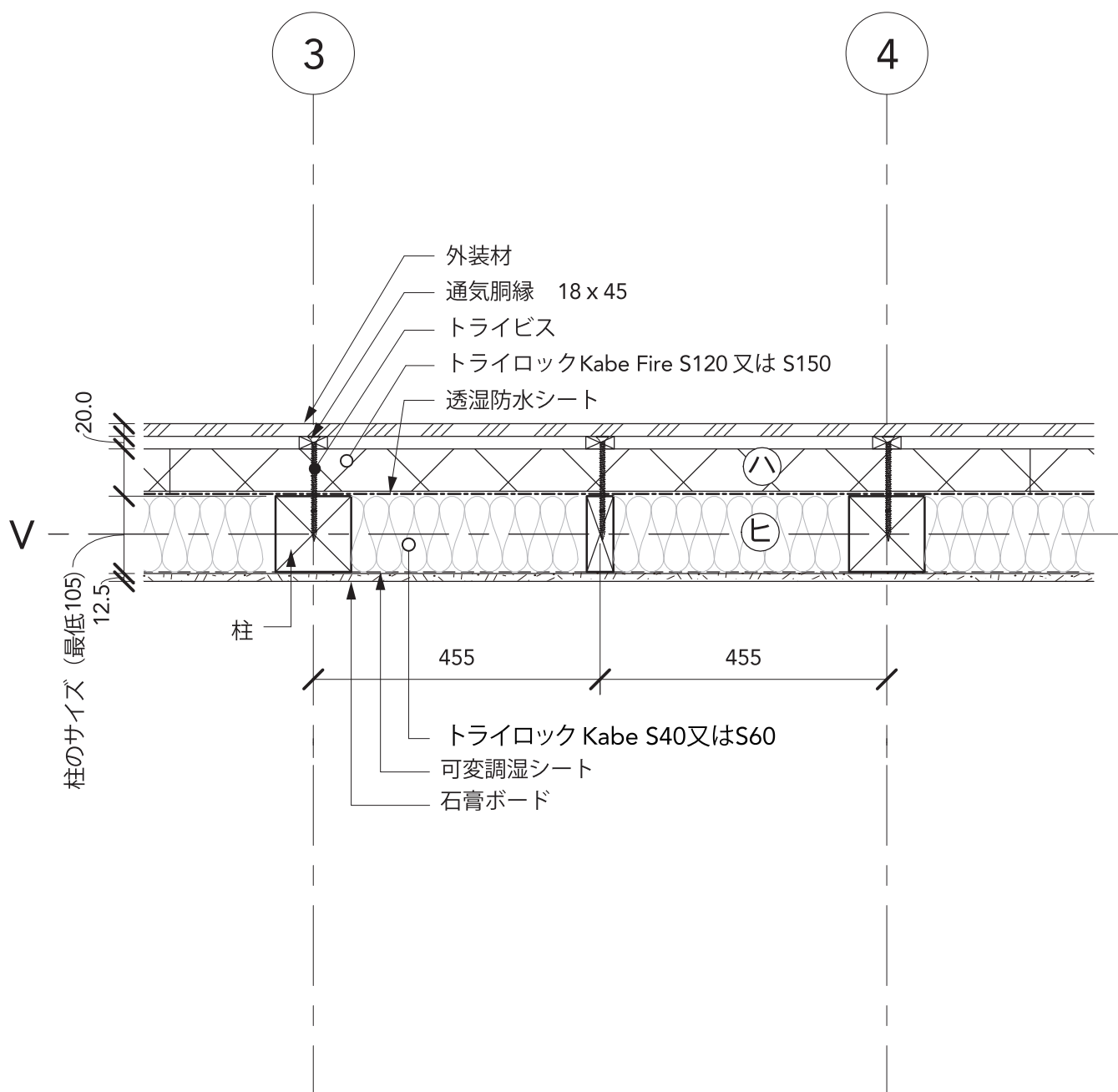
SK-01



ROCKWOOL Japan合同会社 Trærock (トライロック) 防耐火・断熱 外皮システム

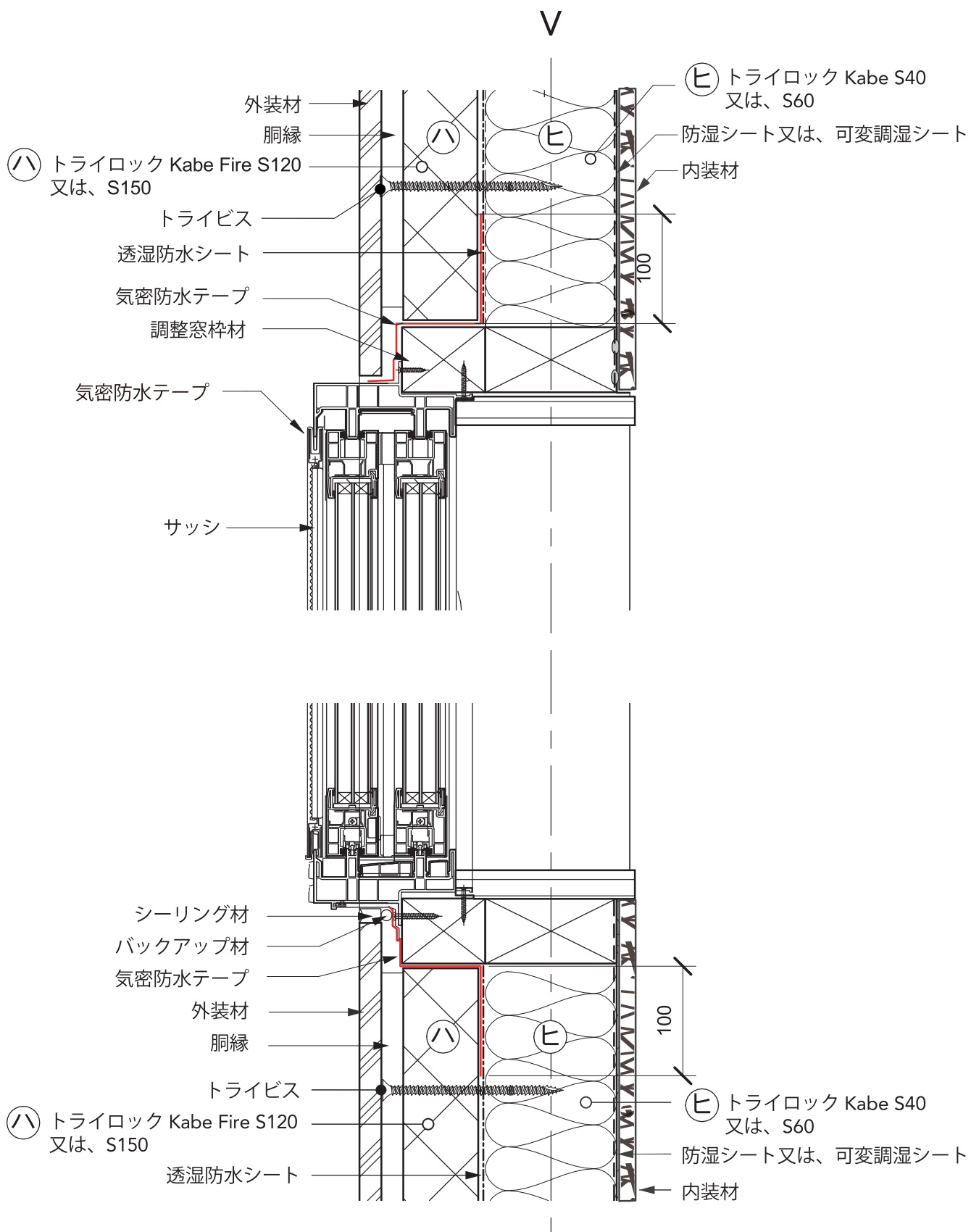
壁外張り+床断熱 取り合い部

SK-02



ROCKWOOL Japan合同会社 Trærock (トライロック) 防耐火・断熱 外皮システム

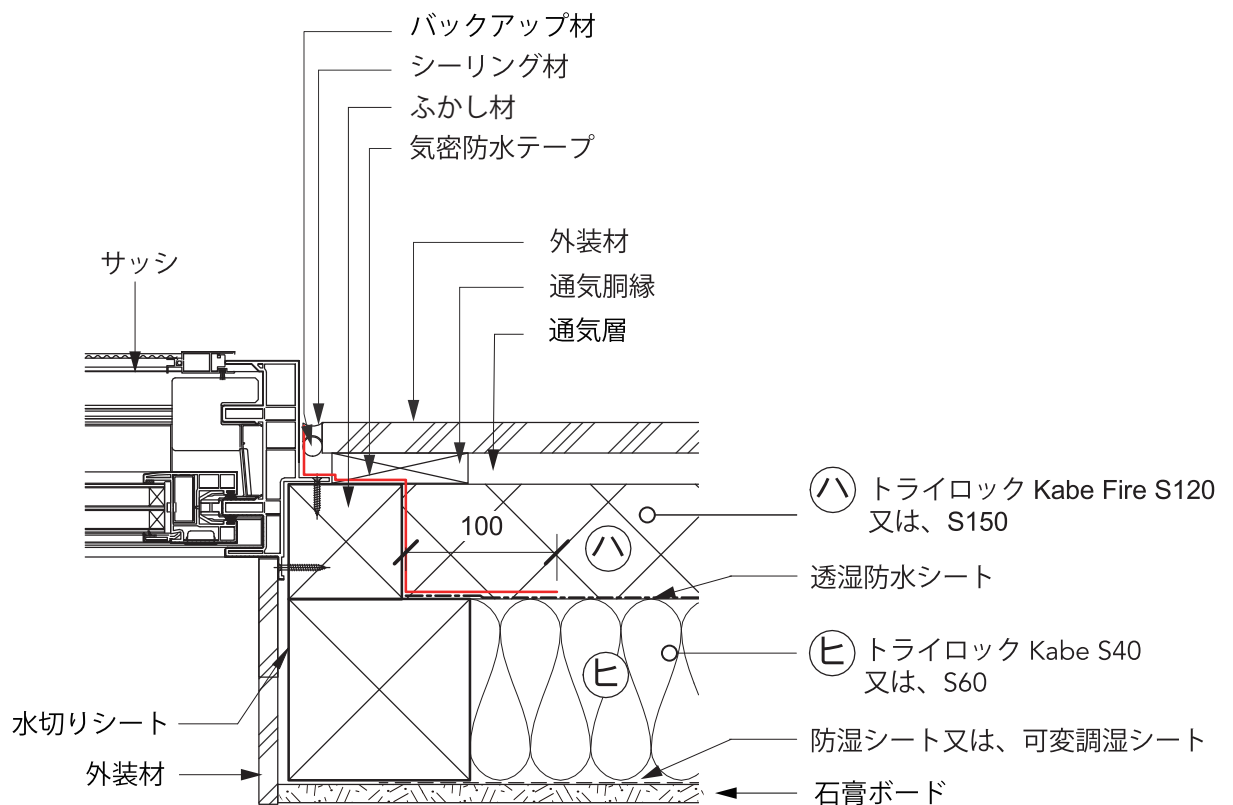
壁一般部 ストーンウール厚さ100mm以下 SK-03



ROCKWOOL Japan合同会社 Trørock (トライロック) 防耐火・断熱 外皮システム

開口部 断面詳細

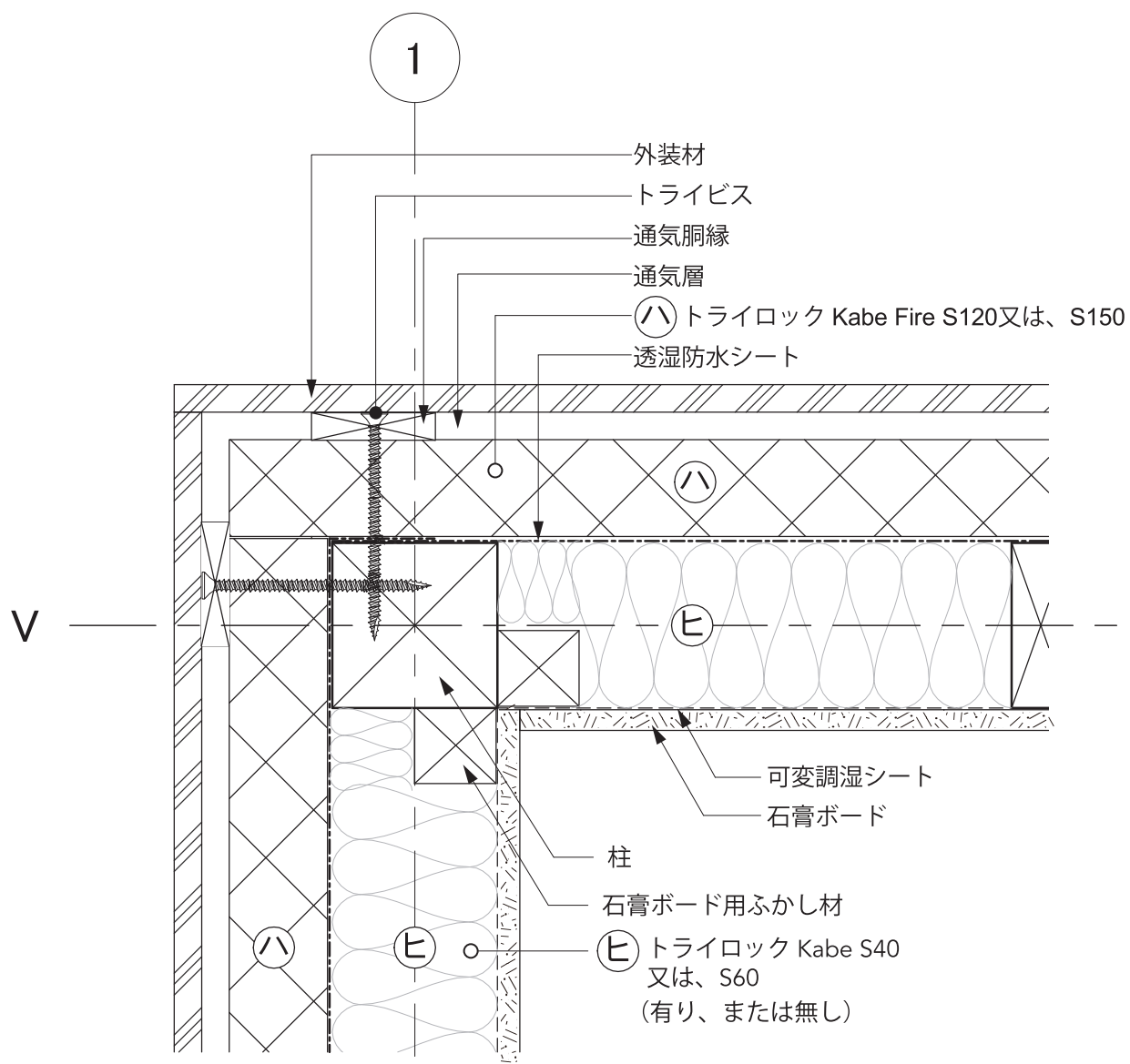
SK-04



ROCKWOOL Japan合同会社 Trærock (トライロック) 防耐火・断熱 外皮システム

開口部 ふかし材 平面詳細

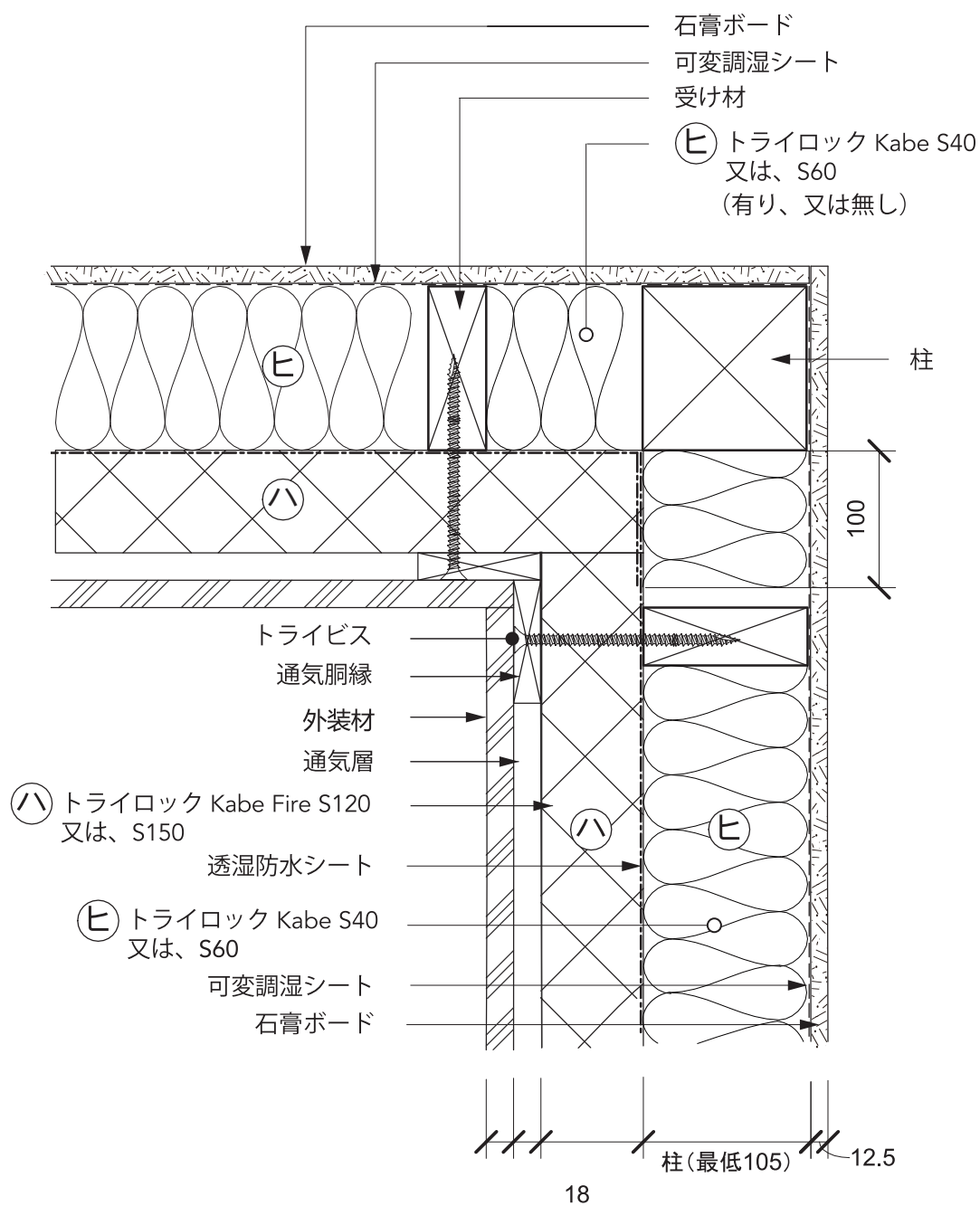
SK-05



ROCKWOOL Japan合同会社 Trærock (トライロック) 防耐火・断熱 外皮システム

出隅部

SK-06

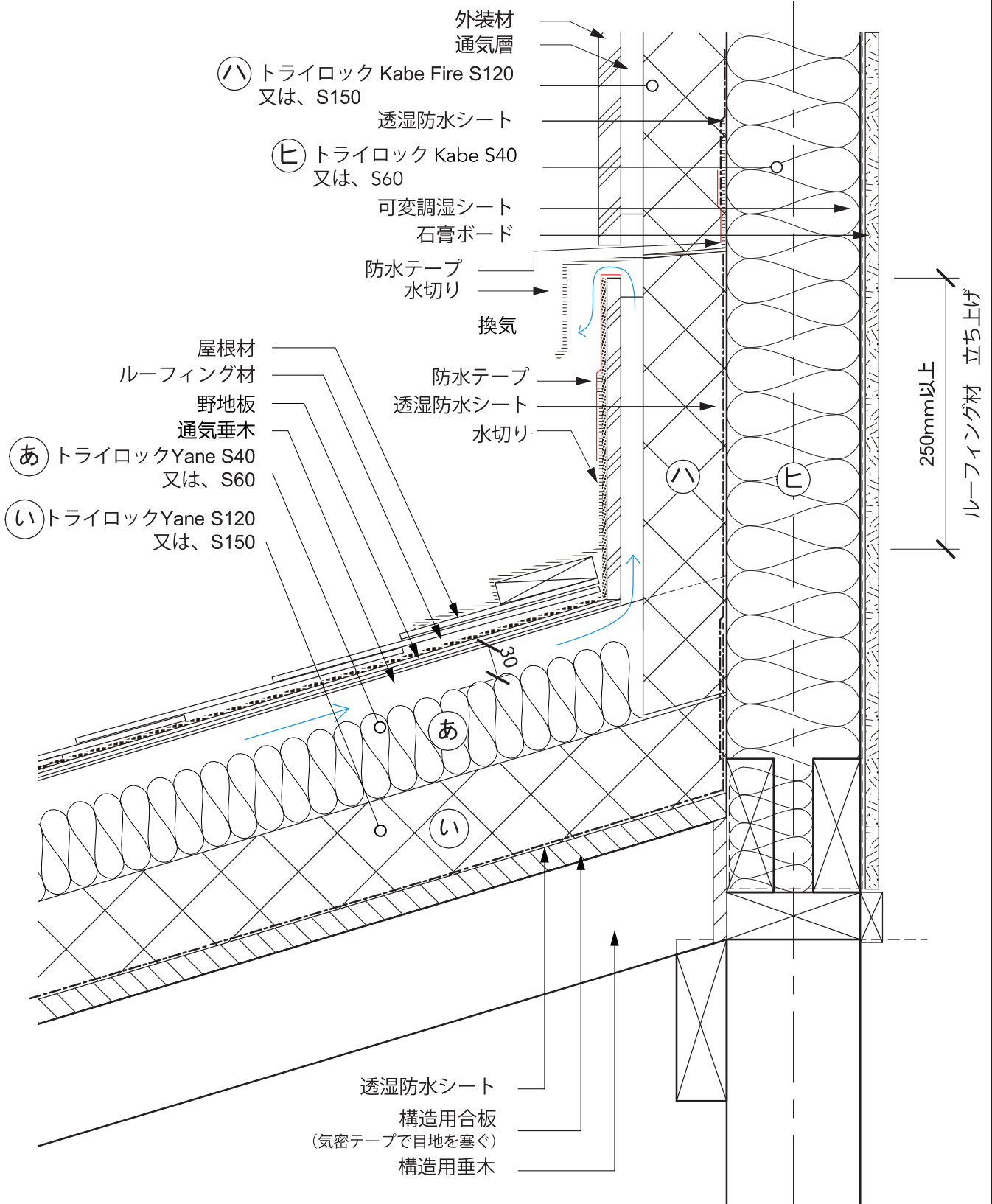


ROCKWOOL Japan合同会社 Trærock (トライロック) 防耐火・断熱 外皮システム

入隅部

SK-07

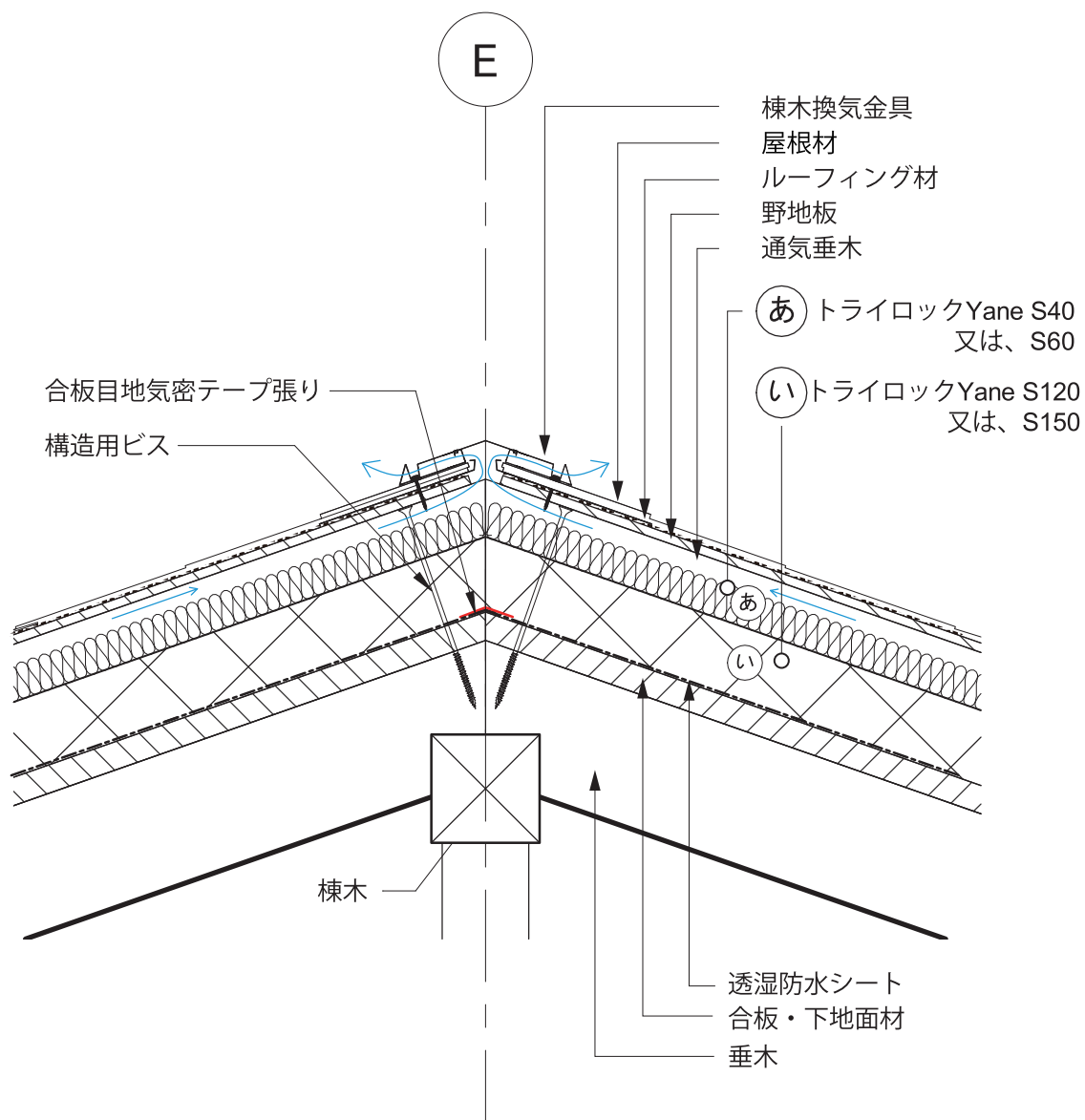
V



ROCKWOOL Japan合同会社 Trærock (トライロック) 防耐火・断熱 外皮システム

下屋と壁 取合部

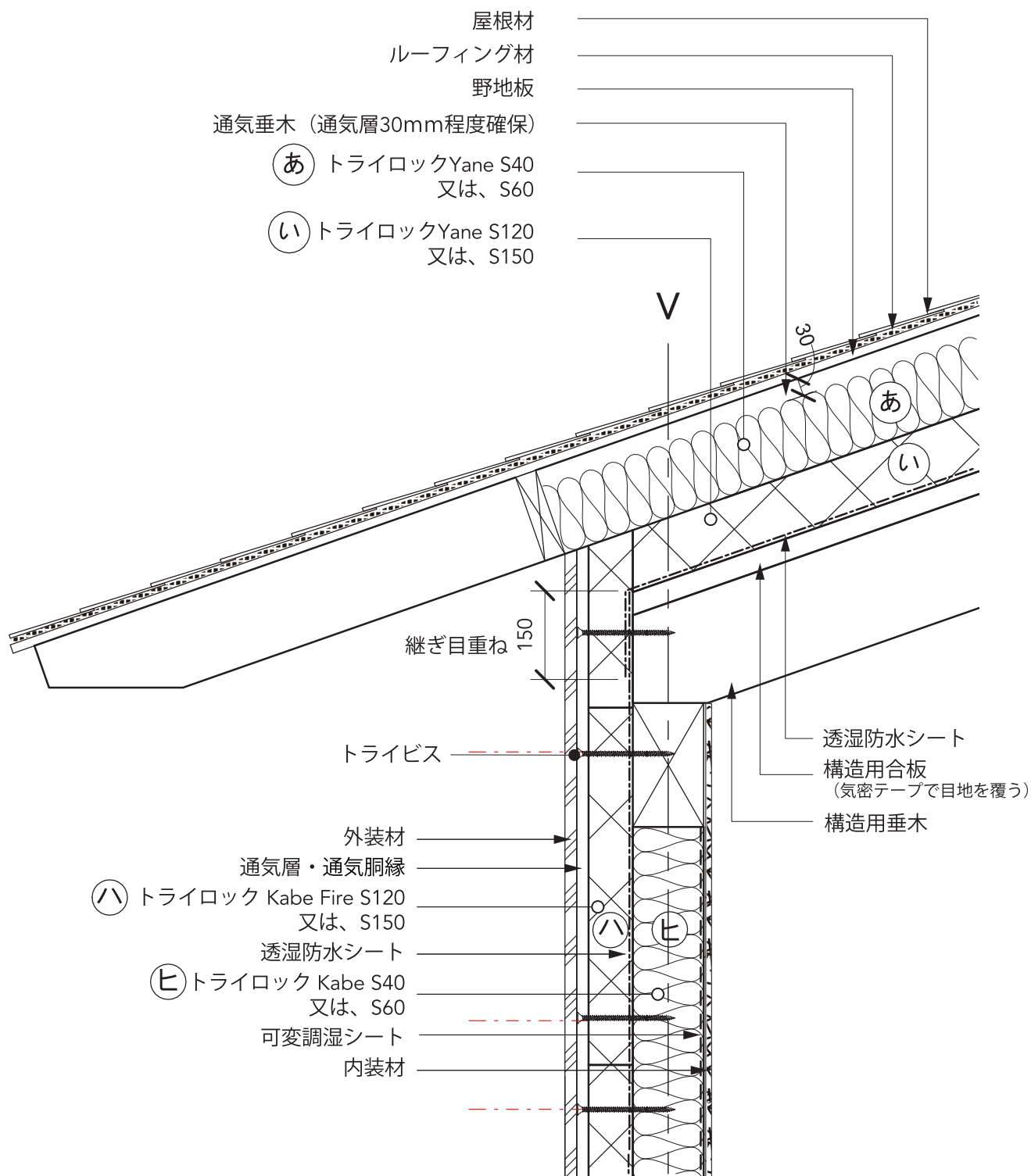
SK-08



ROCKWOOL Japan合同会社 Trærock (トライロック) 防耐火・断熱 外皮システム

棟部 換気部分

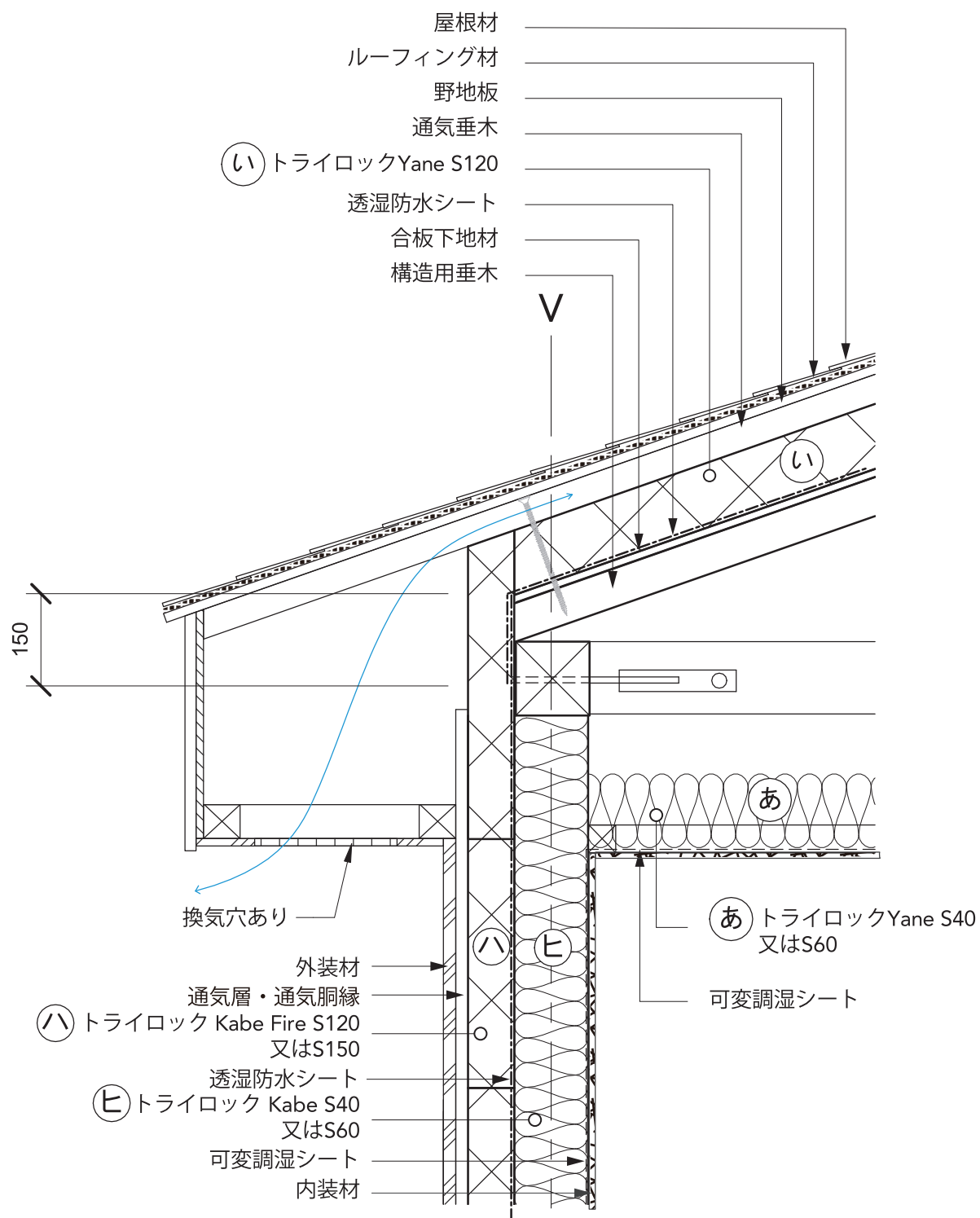
SK-09



ROCKWOOL Japan合同会社 Trærock（トライロック）防耐火・断熱 外皮システム

屋根外張り＋壁外張り

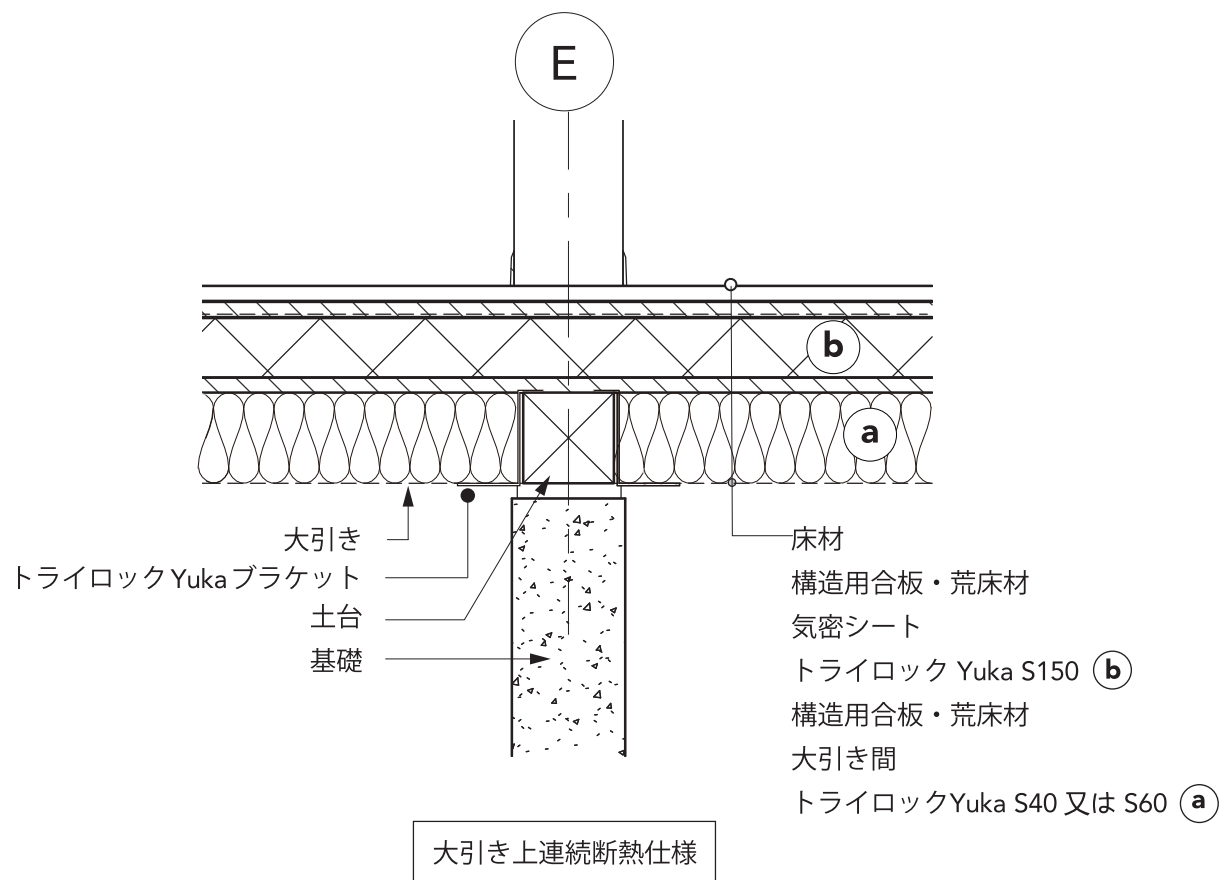
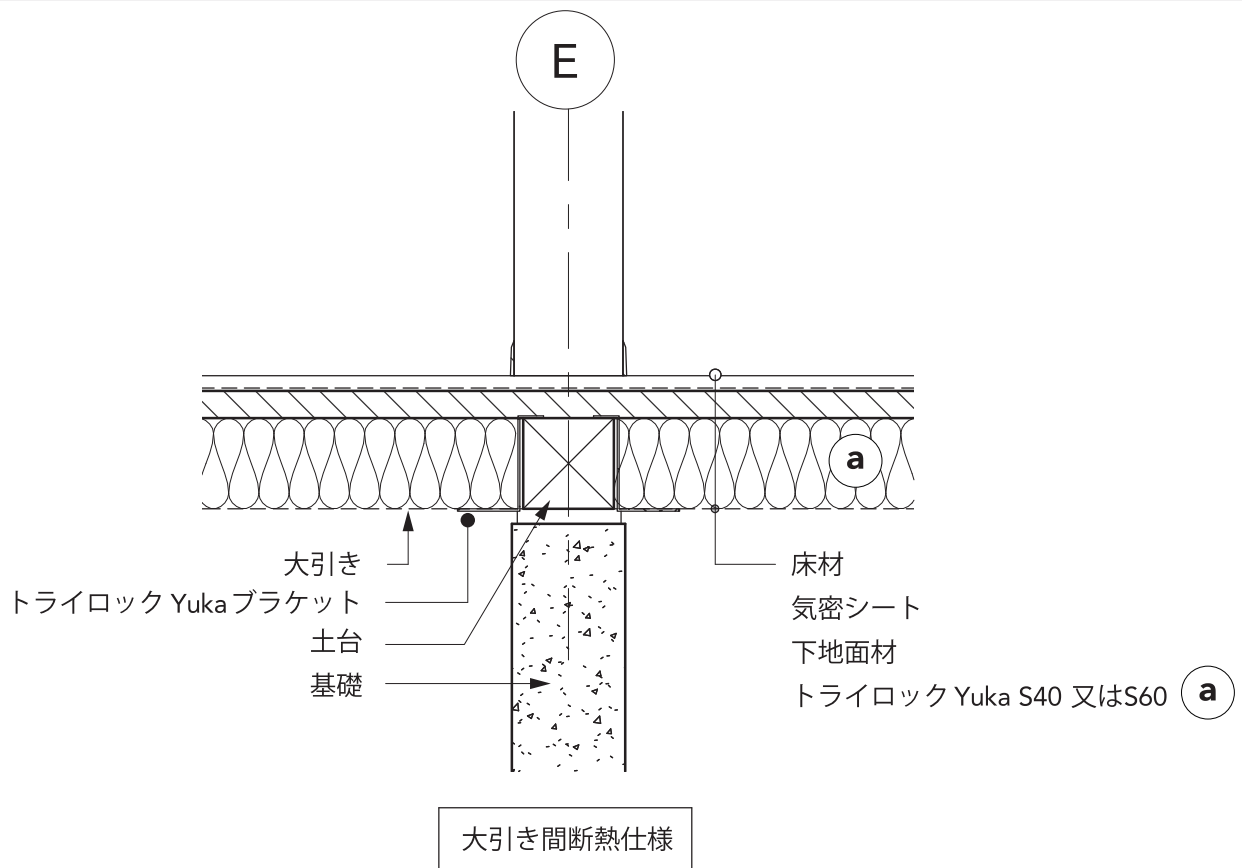
SK-10



ROCKWOOL Japan合同会社 Trærock (トライロック) 防耐火・断熱 外皮システム

屋根 壁取り合い部：垂木を軒で止める

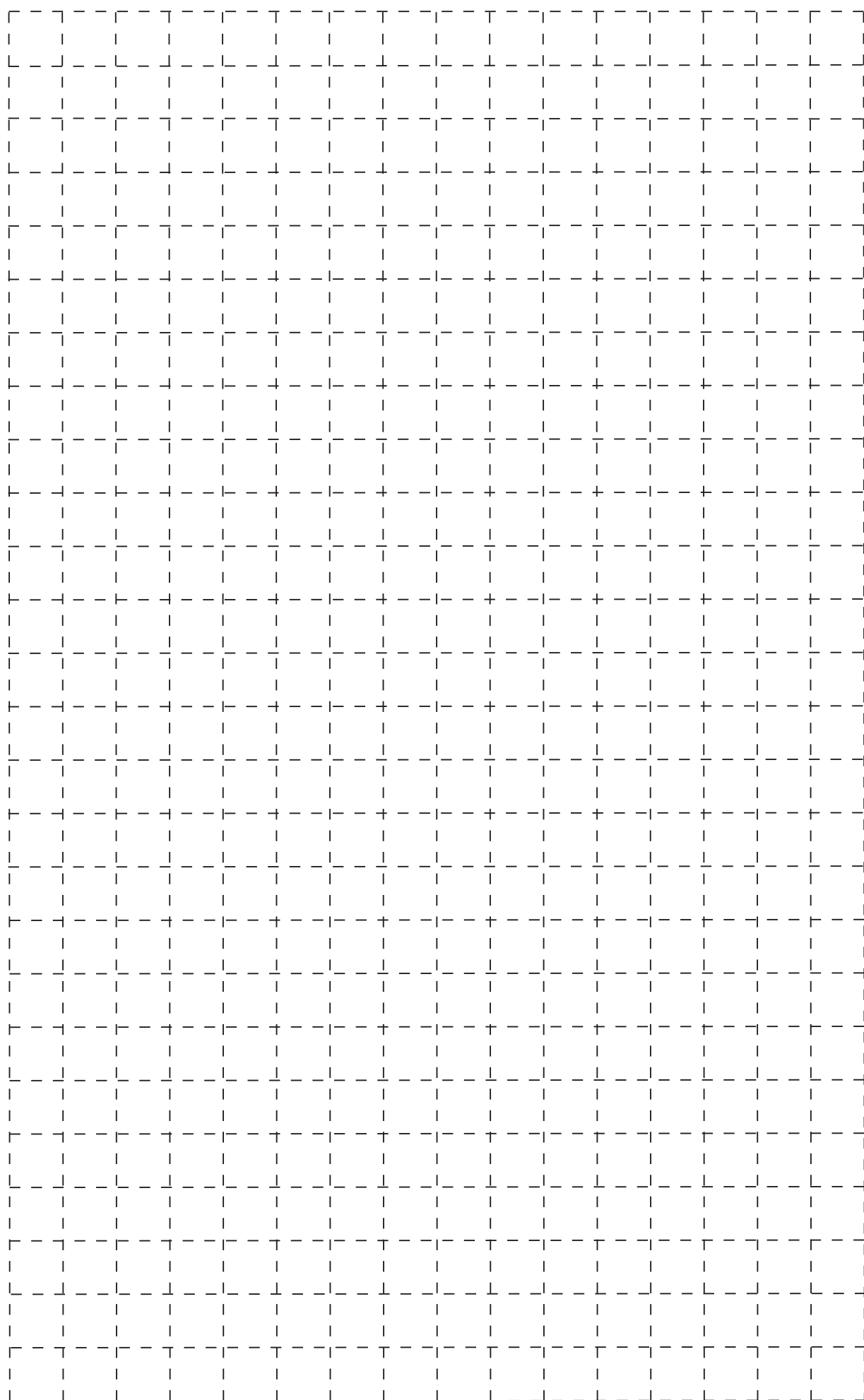
SK-11



ROCKWOOL Japan合同会社 Trærock (トライロック) 防耐火・断熱 外皮システム

大引き間断熱仕様・大引き上連続断熱仕様

SK-15



ROCKWOOL Japan合同会社**富岡工場・本社**

〒979-1151

福島県双葉郡富岡町大字本岡字赤木100-22

T 0240-23-6696

F 0240-23-6996

関東支店

〒340-0822

埼玉県八潮市大瀬1-10-2

T 048-951-2400

F 048-951-2900

アジア地域のROCKWOOLグループ拠点**工場****ROCKWOOL FIRESAFE
INSULATION (GUANGDONG) CO.LTD.**

No. 9, Chuangxin Rd,
Guangfo Industrial Park, Fogang County,
Qingyuan, Guangdong, P.R.C. (511675)
T (+86) 0763 462 8899

ROCKWOOL Malaysia Sdn Bhd

(MLK A) 175 A & B, Kawasan Perindustrian Ayer
Keroh Jalan Lingkungan Usaha,
75450 Ayer Keroh, Melaka, Malaysia.

(MLK B) No 1, Jalan Usaha 13 Kawasan
Industrial, Hang Tuah Jaya,
75450 Ayer Keroh, Melaka, Malaysia.
T (+60) 233 2010

ROCKWOOL (THAILAND) CO.LTD.

WHA Eastern Industrial Estate
(Map Ta Phut) 1 Soi G2,
Pakornsongkrohraj Road ,
Huaypong Muang, Rayong
21150 Thailand
T (+66) 3868 5110
T (+86) 0514 8918 9988

ROXUL-ROCKWOOL**Insulation India Private Limited**

Plot - Z/4, Dahej,
District Bharuch - 392 130,
Gujarat, India.
T(+91) 2641 264465

ROCKWOOL Vietnam Company Limited.

Lot C4, St. No.2, Hai Son IDZ, Binh Tien 2
Halmet, Duc Hoa Dist., Long An Province,
Vietnam.

オフィス**ROCKWOOL FIRESAFE INSULATION
(GUANGDONG) CO.LTD.**

A4 1101-1, Zhitai Plaza, Huangpu Dist,
Guangzhou, Guangdong Province,
P.R.C. (510530)
T (+86) 20 8203 8829

**ROCKWOOL FIRESAFE INSULATION
(SHANGHAI) CO. LTD.**

B305, Shangpinduhui, No.268 Tongxie Rd.,
Changning Dist., Shanghai, P.R.C. (200335)
T (+86) 21 6211 6725

**ROCKWOOL BUILDING MATERIALS
(HONG KONG) LTD.**

Unit 301-2, 3/F, Koon Wah Building
No. 2 Yuen Shun Circuit, Yuen Chau
Kok Shatin, N.T., Hong Kong
T (+852) 2754 0877
F (+852) 2758 2005

ROCKWOOL TAIWAN**REPRESENTATIVE OFFICE**

7FL, No. 137, Ko-Yi Road, Taichung City,
Taiwan R.O.C.
T (+886) 9 3650 3504

**ROCKWOOL BUILDING MATERIALS
(PHILIPPINES) LTD.**

Unit 702, Page 1 Building, 1215 Acacia Avenue
Madrigal Business Park Ayala Alabang
Muntinlupa City, Philippines
T (+63) 2 7710 650
F (+63) 2 7710 649

ROCKWOOL Malaysia Sdn Bhd

Lot 4, Solok Waja 1,
Bukit Raja Industrial Estate,
41050 Klang,
Selangor, Malaysia
T (+60) 3 3346 8200
F (+60) 3 3342 7290

**INDONESIA REPRESENTATIVE
OFFICE**

South Quarter Tower C 10th floor.
JI RA Kartini Kav 8, Cilandak,
Jakarta Selatan 12430, Indonesia
T (+62) 21 5098 2370

ROCKWOOL (THAILAND) LIMITED

B.GRIMM Building 11th Floor 88,
Krungthepkreetha Road Huamark, Bangkapi,
Bangkok 10240, Thailand
T (+66) 2731 7511-14

ROCKWOOL Vietnam Company Limited.

232/Binh Loi St., Ward 13, Binh Thanh Dist.,
Ho Chi Minh City, Vietnam.
T (+84) 28 2552 0150

**ROXUL ROCKWOOL TECHNICAL
INSULATION INDIA PVT. LTD.**

Wing B-2, 2nd Floor, Unit No. 206,
Boomerang, Near Chandivali Film Studio,
Chandivali Farm Road,
Andheri (E), Mumbai - 400072, Maharashtra,
India
T (+91) 2267 157700

**ROCKWOOL BUILDING MATERIALS
(SINGAPORE) PTE. LTD.**

No. 7, Tuas Avenue 1, Jurong Town,
Singapore 639492.
T (+65) 6861 4722

